

社会資本総合整備計画
全ての人にとって魅力ある寒川駅周辺地区の創出
【平成22～25年度】
事後評価シート(原案)

・寒川駅周辺地区都市再生整備計画事業【平成21～25年度】

平成25年10月

神奈川県寒川町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	寒川町	地区名	全ての人にとって魅力ある寒川駅周辺地区の創出
交付期間	平成21年度～平成25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	1,128.7百万円(A:916百万円、B:198百万円、C:14.7百万円)

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名		
	A基幹事業	都市再生整備計画事業	公園(1号街区公園、2号街区公園、3号街区公園)、高質空間形成施設(エレベーター、エスカレーター)、土地区画整理事業(寒川駅北口地区土地区画整理事業)		
	B関連社会資本整備事業	寺尾橋架け替え事業			
	C効果促進事業	バスシェルター・ベンチ設置事業			
当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
	A基幹事業	都市再生整備計画事業	なし		
	B関連社会資本整備事業	なし			
新たに追加した事業	A基幹事業	都市再生整備計画事業	①寒川駅北口地区土地区画整理事業 ②高質空間形成施設(商店街街路灯)		①支障物件の移転工法変更に伴い事業費が増額となったため。 ②安全安心に通行できる空間を整備するため追加。
	B関連社会資本整備事業	なし			
	C効果促進事業	なし			
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	
	変更	なし			

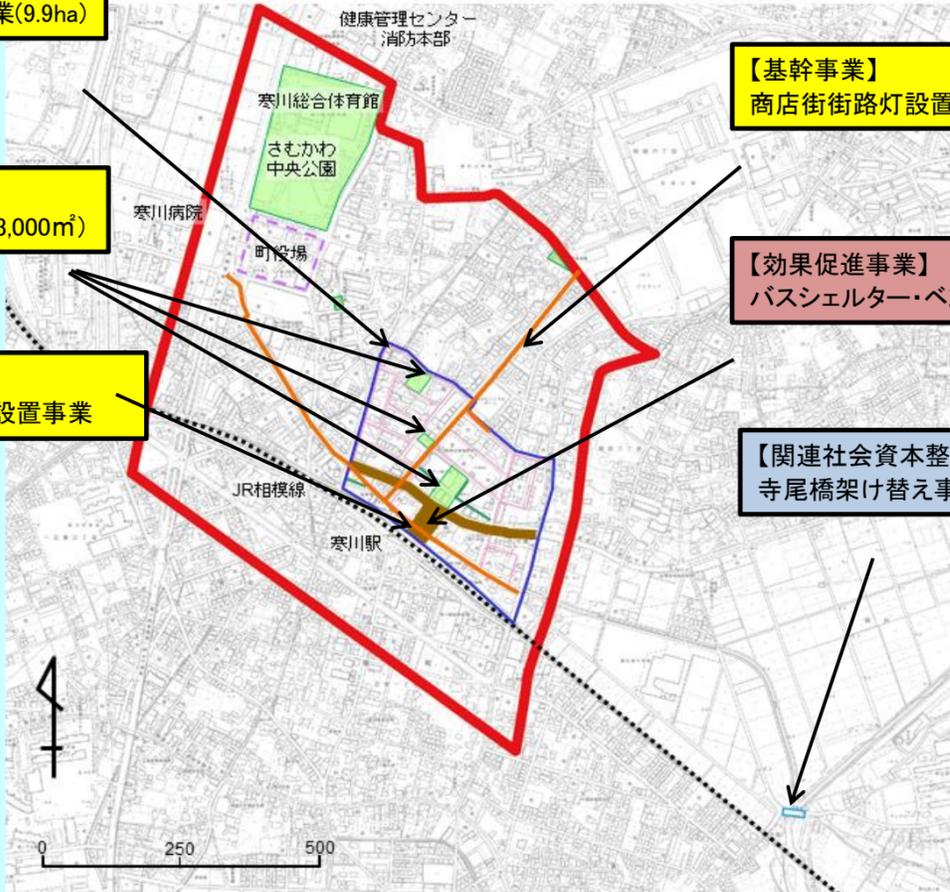
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	区画整理区域内新築件数	件	102	H20	182	H25		171	△	あり なし ●	社会経済情勢の変化や部分的な街区整備の停滞等によって目標は達成できなかった。	平成26年6月
指標2	公園充足度	%	60	H20	87	H25		89	○	あり なし	街区公園の整備によって計画区域の約9割が公園誘致圏となり、地域住民の居住環境向上に寄与した。	なし
指標3	区画整理区域内商業床面積	m ²	9,600	H20	13,200	H25		12,576	△	あり なし ●	社会経済情勢の変化や部分的な街区整備の停滞等によって目標は達成できなかった。	平成26年6月
指標4	歩行支援施設の整備率	%	71	H20	100	H25		100	○	あり なし	歩道を整備することによって、公共施設への安全安心なアクセスが確保された。	なし

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	コミュニティバス寒川駅バス停利用者数(1日平均)	人/日	161	H20				219			駅の利便性向上効果をコミュニティバスの利用者数の増加をもって評価する。	平成26年6月
その他の数値指標2	寒川駅前公園でのイベント開催数	回/年	4	H23				17			朝市の定期開催と多様なイベントの開催によって地域の活性化に寄与している。	平成26年6月
その他の数値指標3												

4)定性的な効果発現状況
 ・公園、歩道、商店街街路灯の整備によって、安心快適なまちづくりが実現したとの意見が多くあり、地域住民から高い評価を得ている。
 ・寒川駅北口中心としたイベントなど、持続的なまちづくりが実施されている。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた			
	住民参加プロセス	「寒川駅北口地区まちづくり協議会」を中心に街区公園、歩道等の整備内容を検討	都市再生整備計画に記載し、実施できた ●			今後は、地域住民を中心としたイベント等の実践をサポートする。
	持続的なまちづくり体制の構築	①「寒川駅北口地区まちづくり協議会」に対し、事務局として人的支援、体制のサポートを行った。 ②寒川駅北口地区商業活性化委員会を中心にイベントなどの展開を検討した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた ①● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ②●			①まちづくり協議会で作成したルールに基づきまちづくりを進める。 ②賑わいを創出するソフト事業を展開する。

様式2-2 地区の概要

社会資本総合整備計画「全ての人にとって魅力ある寒川駅周辺地区の創出」の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
寒川駅北口地区土地区画整理事業を進めながら、道路、公園等の公共施設の改善や、土地利用の適正化を図るとともに、町内外の全ての人々にとって魅力にあふれ、近隣市からの来訪者の増加を促進するような活力のある中心市街地を創出する。	区画整理区域内新築件数	単位:件	102	H20	182	H25	171	H25
	公園充足度	単位:%	60	H20	87	H25	89	H25
	区画整理区域内商業床面積	単位:m ²	9,600	H20	13,200	H25	12,576	H25
	歩行支援施設の整備率	単位:%	71	H20	100	H25	100	H25
		単位:		H		H		H
 <p>寒川駅前公園</p>  <p>エレベーター・エスカレーター</p>		 <p>健康管理センター 消防本部 寒川総合体育館 さもかわ中央公園 寒川病院 町役場 JR相模線 寒川駅</p>		 <p>商店街街路灯</p>		 <p>歩道整備</p>		
<p>【基幹事業】 寒川駅北口土地区画整理事業(9.9ha)</p> <p>【基幹事業】 公園整備事業(3カ所:合計3,000m²)</p> <p>【基幹事業】 エレベーター・エスカレーター設置事業</p>		<p>【基幹事業】 商店街街路灯設置事業</p> <p>【効果促進事業】 バスシェルター・ベンチ設置事業</p> <p>【関連社会資本整備事業】 寺尾橋架け替え事業</p>						
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業を契機に地区計画により住宅や商業施設の計画的土地利用への誘導を図るとともに、街区公園や街路灯、エレベーター・エスカレーター、バスシェルター、ベンチの整備により、都市基盤の整備や寒川駅利用者の利便性の向上が図られ、中心市街地の形成に必要な都市空間が創出された。 ・コミュニティバスの駅前広場への乗り入れにより、駅周辺地区へ交通利便性が向上した。 ・寺尾橋の架け替えにより、道路幅員が拡幅され車両のすれ違いが可能となり交通渋滞が解消されたことで、快適な交通環境が形成され、近隣市からの人の流れを当該地区に呼び込むことができた。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>魅力ある寒川駅周辺地区(中心市街地)とするため、土地区画整理事業を早期に完了させるとともに、住宅、商業的施設の立地促進が残された課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> →寒川駅北口地区の商店会などが駅前公園を利用して年間をとおり、様々な事業やイベントが開催できるよう支援を行う。 →コミュニティバスの寒川駅への乗り入れが実現し交通の利便性が向上したことから、その充実を図るとともに、他の公共交通の充実についても取り組んでいく。 →土地利用の住商混在を解消し、計画的な土地利用を図る。 →商業施設出店地域としてさらに魅力を向上させ、商業的施設の立地促進を図る。 <p>安心・安全なまちづくりの継続が重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> →町の玄関口及び健全な町の中心商業地づくりを推進することで活力の在る交流ができる地域として、当該地域において変化する治安情勢に対応し、安全な生活環境を確保する活動拠点を確実に確保していく。 →地元からも要望のある自転車等放置禁止区域を設定するとともに、新たな自転車駐輪場の整備の検討を進める。 							